

成長可能性に関する説明資料

ダイヤモンドワイヤの市場拡大と事業成長

株式会社 中村超硬

Nakamura Choukou Co.,Ltd.

(証券コード：6166)

2015年6月24日

CONTENTS



01

中村超硬について



02

ダイヤモンドワイヤと その販売拡大戦略



03

持続的成長のために

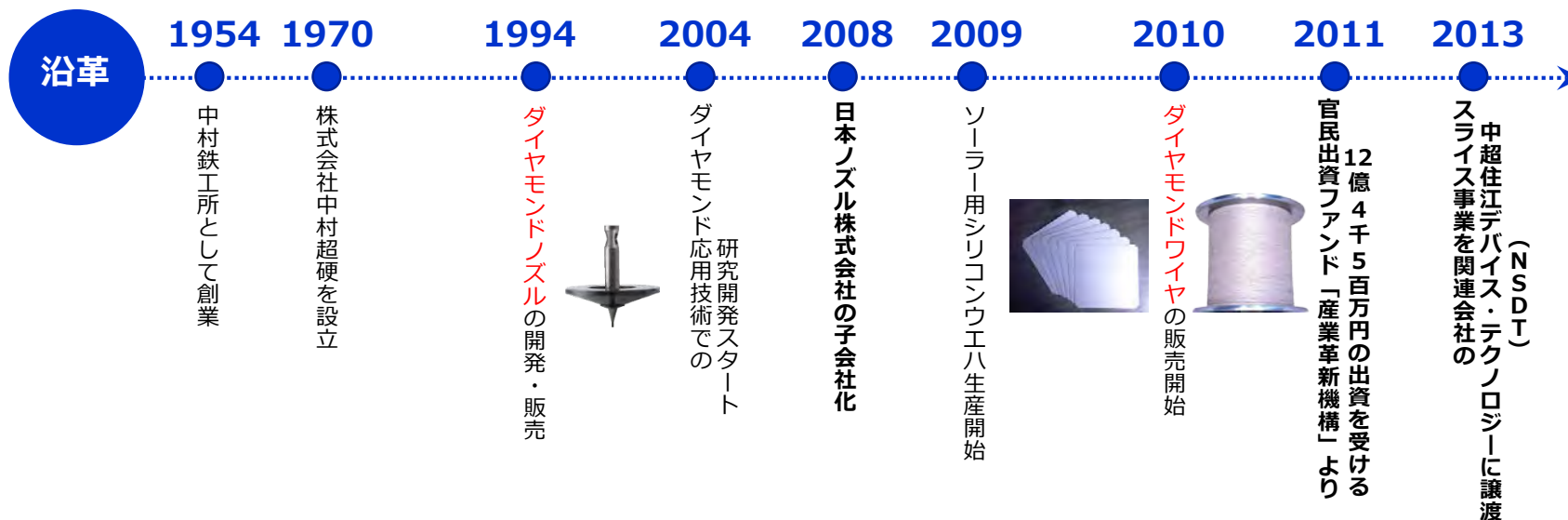
- ① 会社概要
 - ② 主な事業所と事業領域
 - ③ 事業別売上高と営業利益・営業損失
 - ④ 当社の特長（強み）
- ① ダイヤモンドワイヤとは
 - ② 当社の技術的優位性と販売手法
 - ③ 今後の成長戦略
- ① 当社の課題とその解決へ
 - ② 研究開発による事業創造

01 中村超硬について

- ① 会社概要
- ② 主な事業所と事業領域
- ③ 事業別売上高と営業利益・営業損失
- ④ 当社の特長（強み）

| | |
|-------|--|
| 会社名 | 株式会社 中村超硬 (なかむらちょうこう) |
| 代表者 | 代表取締役社長 井上 誠 |
| 創業/設立 | 1954年10月/1970年12月 |
| 本社所在地 | 大阪府堺市西区鶴田町27-27 |
| 資本金 | 13億187万5千円 |
| 従業員数 | 128名 (連結従業員数201名) |
| 子会社 | 日本ノズル株式会社 中国現地法人 上海那科梦乐商贸有限公司 中国現地法人 无锡力宏喷丝板贸易有限公司 |
| 関連会社 | 中超住江デバイス・テクノロジー株式会社 (NSDT) / 持株比率49.9% |

(2015年3月末時点)



② 主な事業所と事業領域

大阪府和泉市

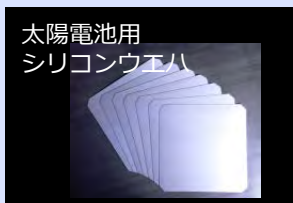
電子材料スライス周辺事業

和泉工場
中超住江デバイス・テクノロジー株式会社
(NSDT)



NSDT事業

太陽電池用
シリコンウエハ



ダイヤモンドワイヤ



特殊精密機器事業

本社



ダイヤモンドノズル

ダイヤモンド部品

大阪府堺市

化学繊維用紡糸ノズル事業

連結子会社
日本ノズル株式会社

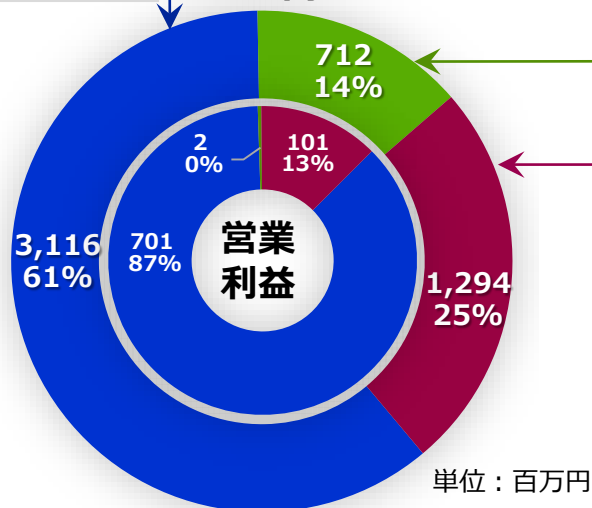


合成繊維用紡糸ノズル

不織布用製造装置

兵庫県神戸市

売上高



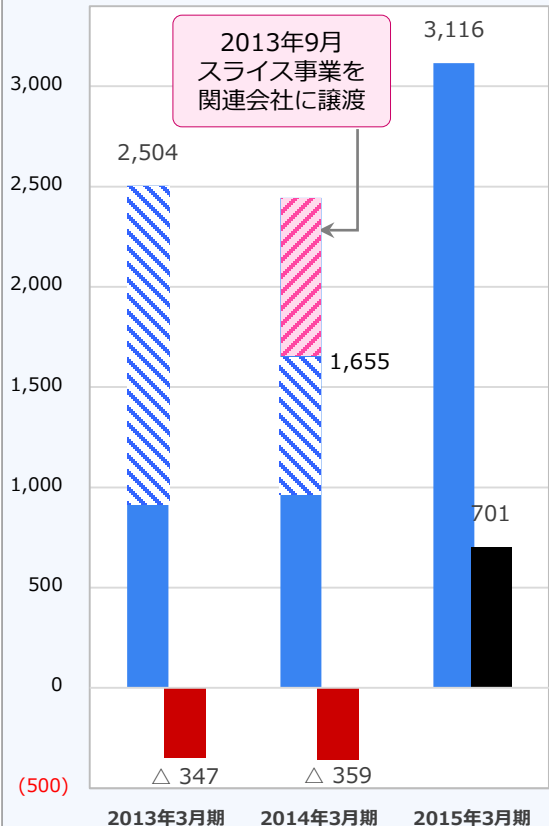
事業別売上高・営業利益 (2015年3月期)

※45期 (2015年3月期) については監査を手続き中であります。

電子材料スライス周辺事業

■ ダイヤモンドワイヤ 売上高
■ スライス加工 売上高
■ 営業利益
■ 営業損失 (△)

単位：百万円

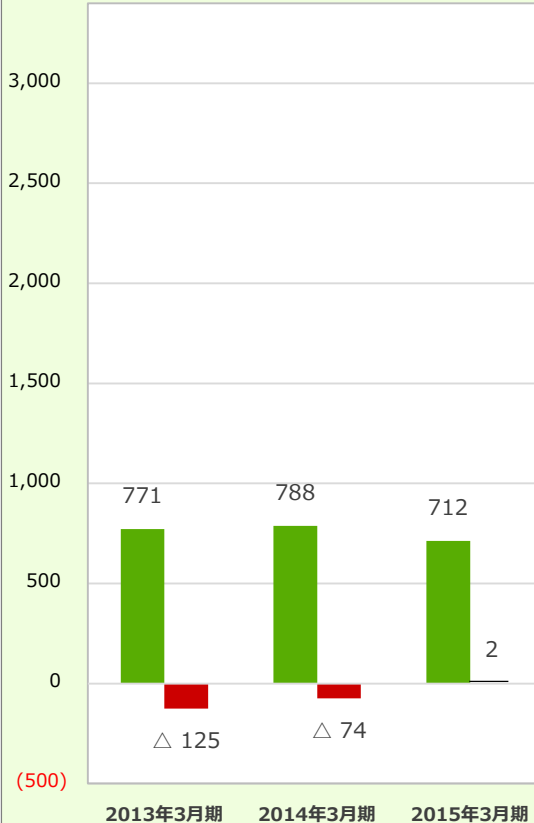


ダイヤモンドワイヤ販売増で利益拡大

特殊精密機器事業

■ 売上高
■ 営業利益
■ 営業損失 (△)

単位：百万円

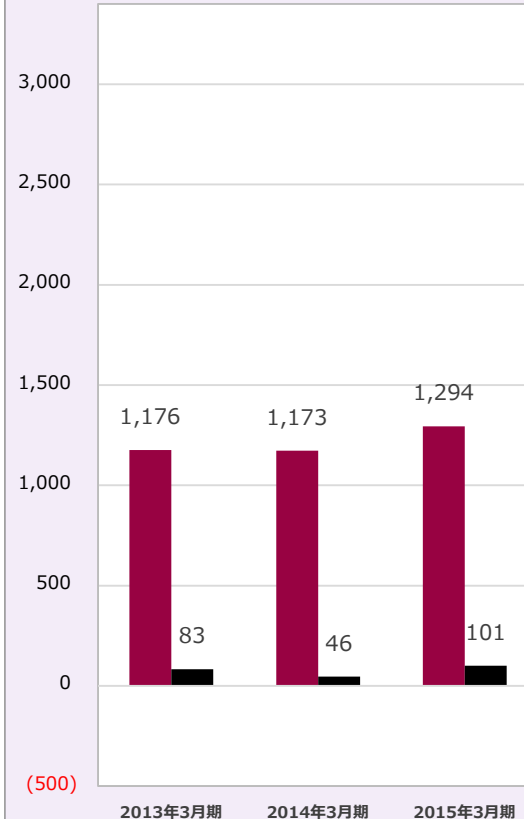


事業改革で黒字化

化学繊維用紡糸ノズル事業

■ 売上高
■ 営業利益

単位：百万円



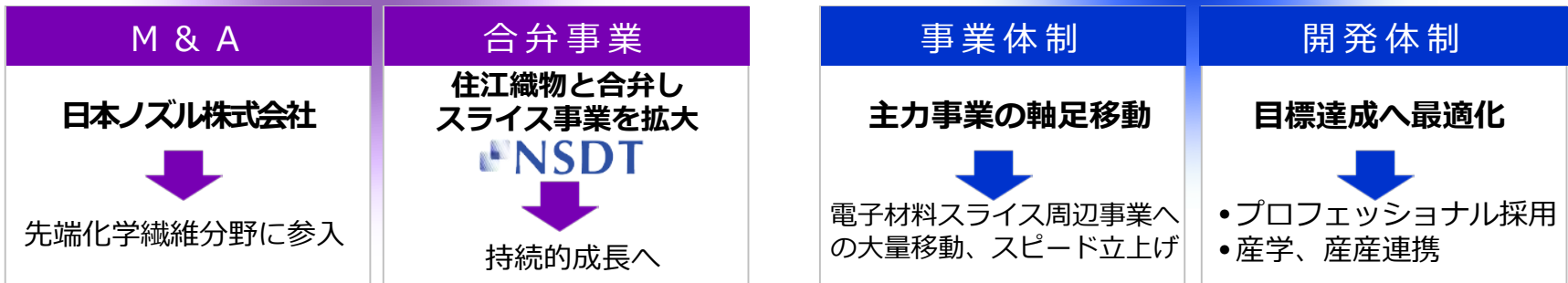
黒字体質で安定成長

※45期（2015年3月期）については監査を手続き中であります。



資本戦略

構造改革

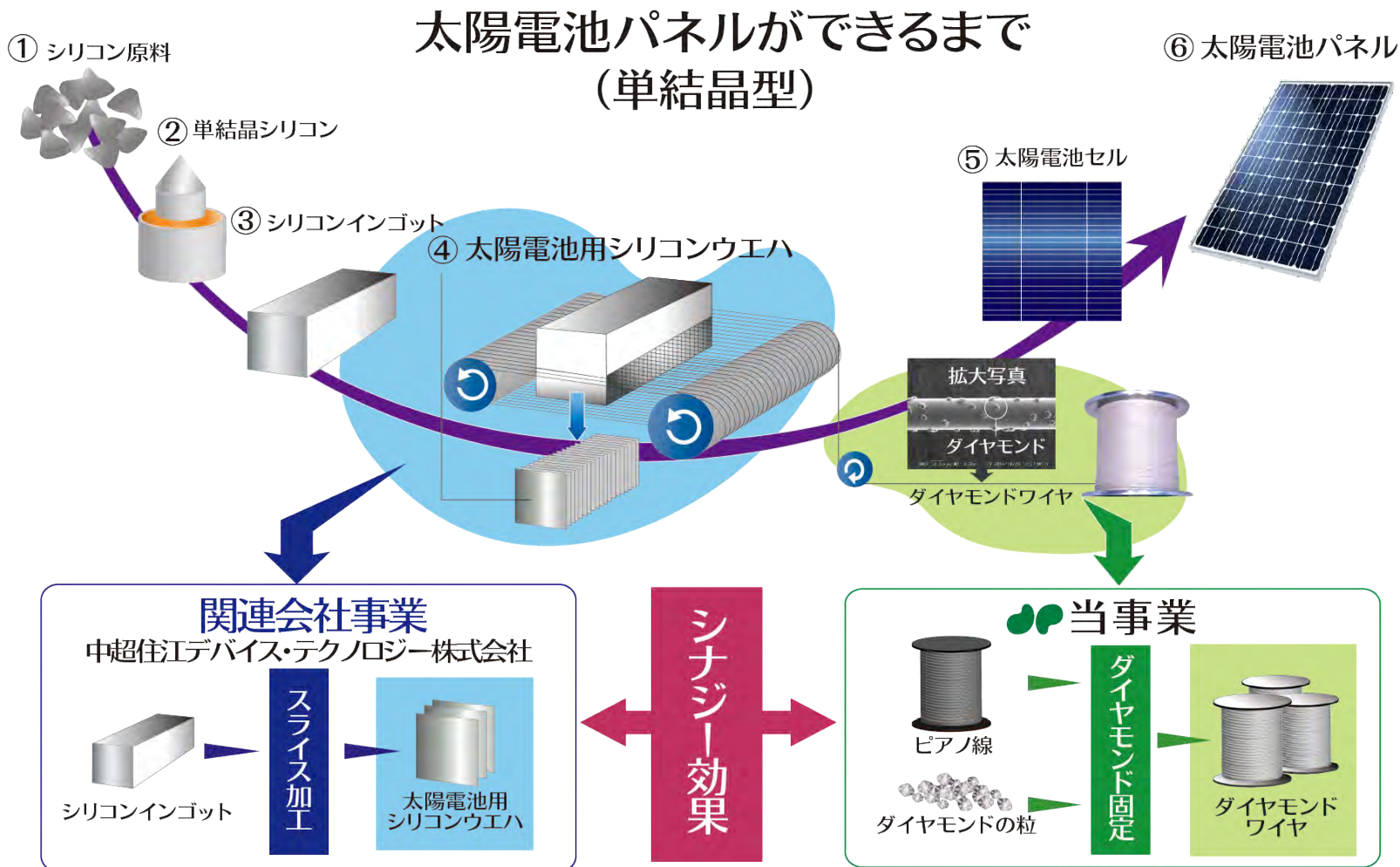




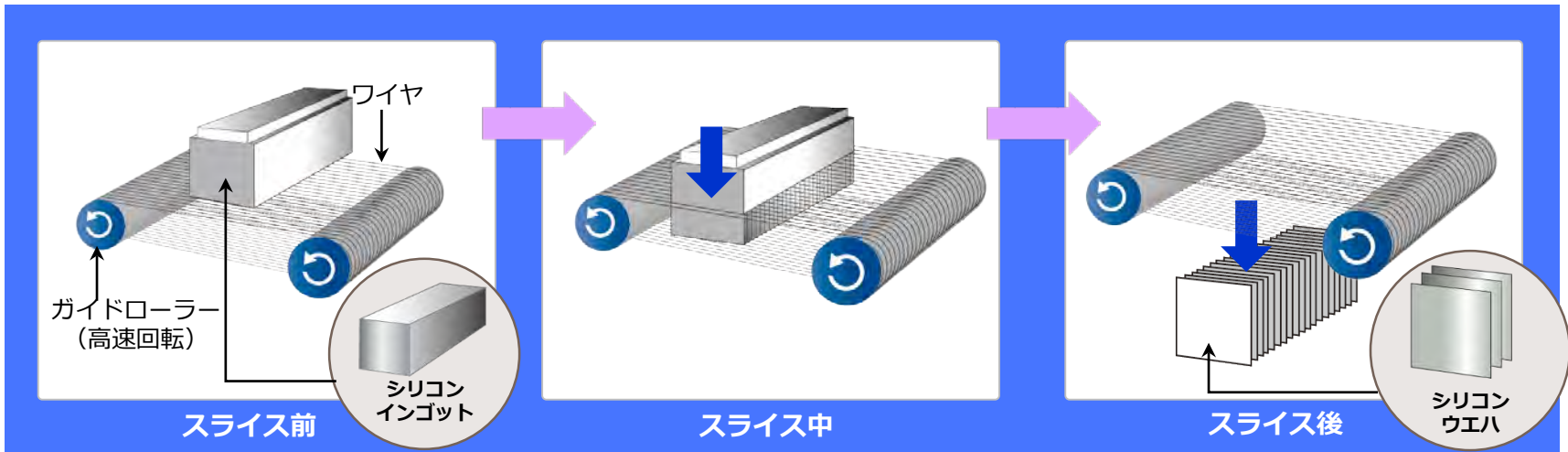
02 ダイヤモンドワイヤとその販売拡大戦略

- ① **ダイヤモンドワイヤとは**
 - 当社独特の事業モデル
 - インゴットのスライス加工
 - 固定砥粒方式への転換と需要増大
- ② **当社の技術的優位性と販売手法**
 - ダイヤモンドワイヤの低価格化を実現
 - ユーザーニーズへの積極的アプローチ
- ③ **今後の成長戦略**
 - 太陽電池市場の予測
 - ダイヤモンドワイヤの需要増大
 - 顧客状況に応じた販売戦略
 - 最大市場の中国でNo.1シェアを獲得へ
 - 技術開発による販売拡大

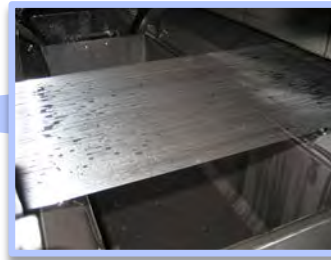
スライス加工の業界で**ダイヤモンドワイヤ**の販売と**スライス**事業（関連会社）を展開



スライス加工の概念図



2,000~
3,000枚
3~4
時間



スライス加工用機械

遊離砥粒から**固定砥粒**へ



事業化の背景

ダイヤモンドワイヤのものづくり課題
高コストである



ダイヤモンド固定プロセスの高速化

マルチ方式（特許取得）による高速製造装置により

製造速度の
高速化

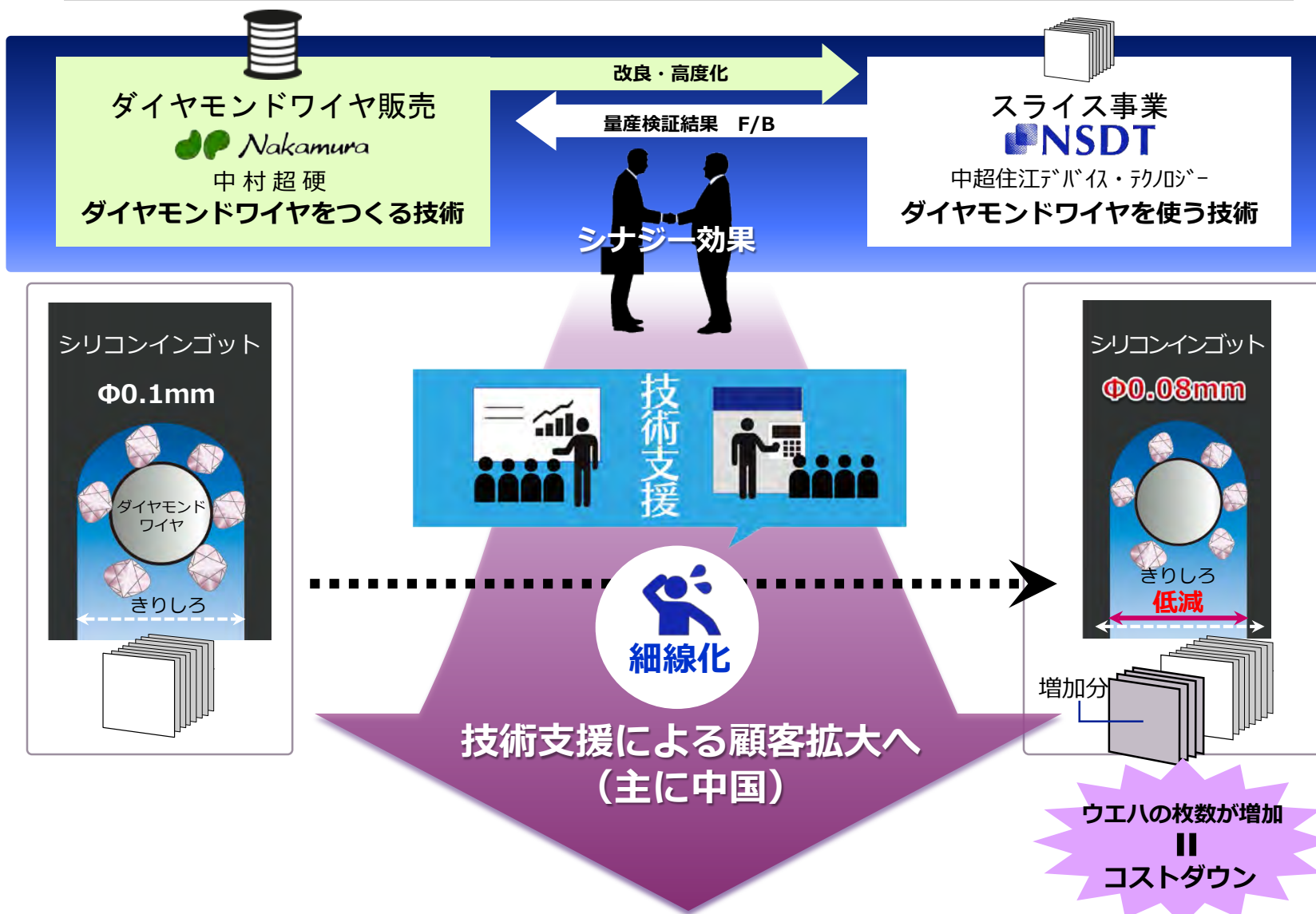
製造設備の
低コスト化

省人化による
人件費削減



ダイヤモンドワイヤの低価格化を実現

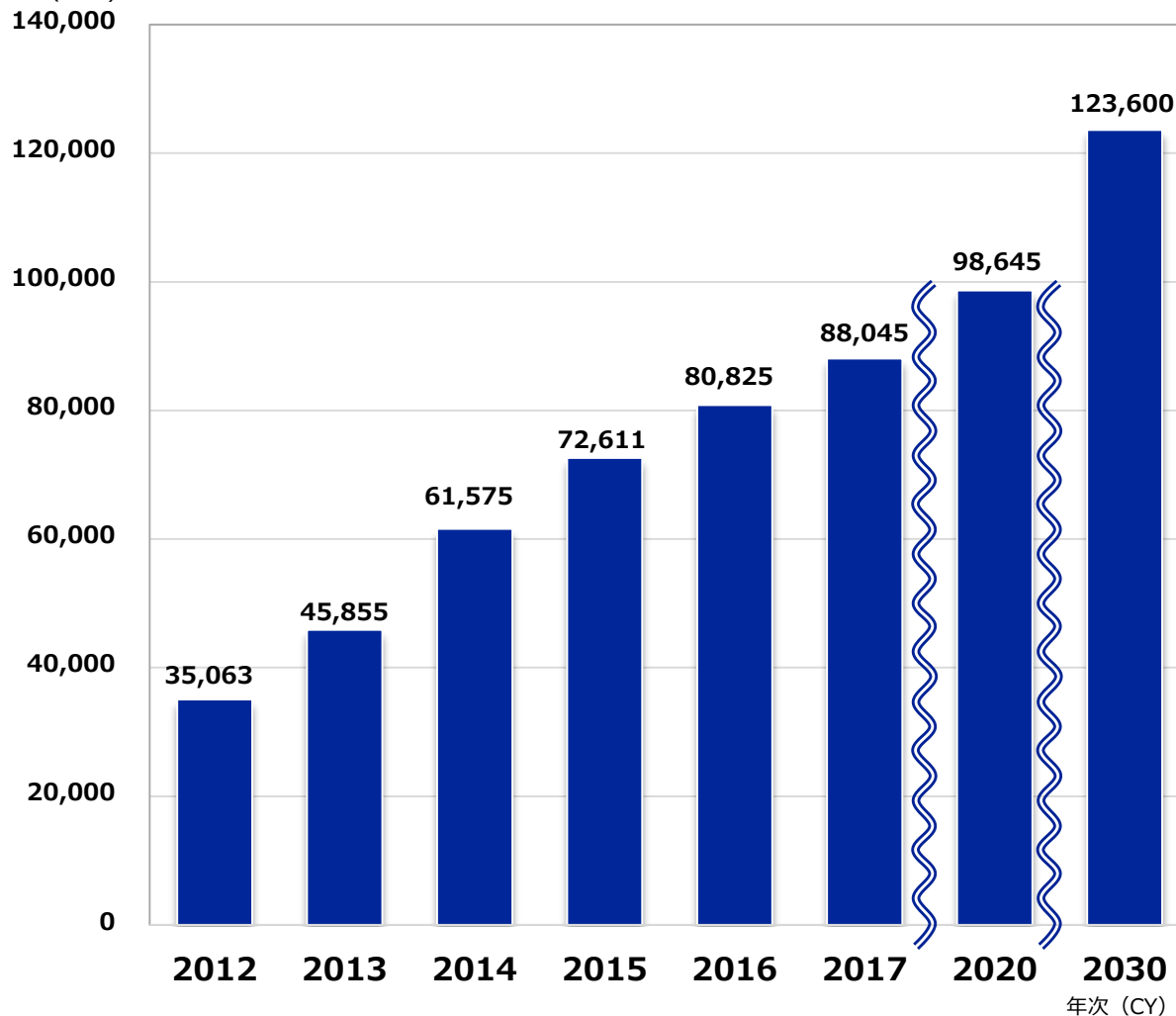
生産性向上の提案と技術支援



拡大成長を続ける太陽電池のグローバル市場



単位：出力量
(MW)



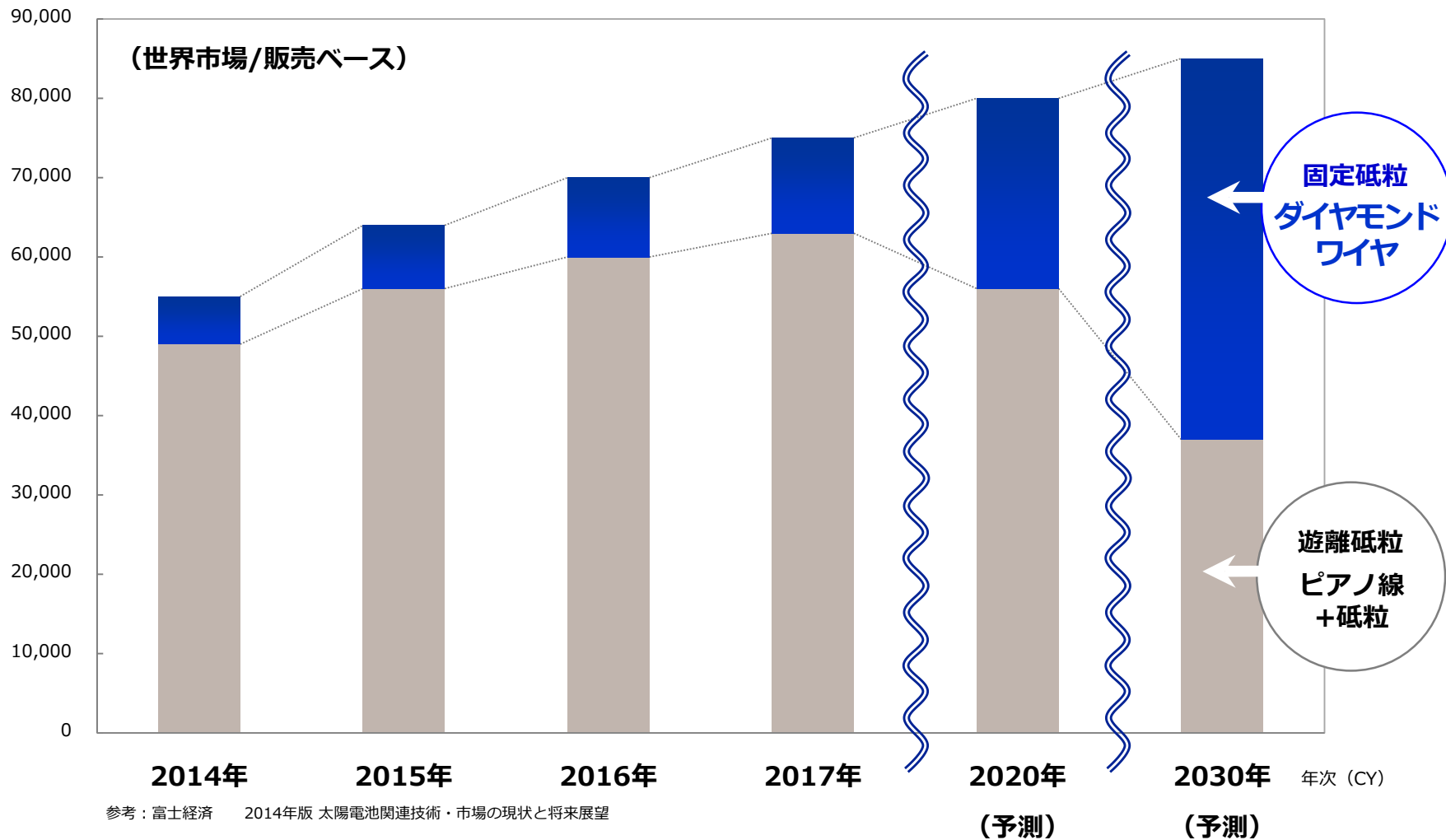
参考：株式会社富士経済

2014年版 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望

Copyright (c) Nakamura Choukou Co.,Ltd. All Rights Reserved.

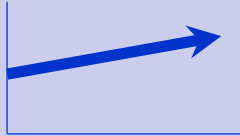
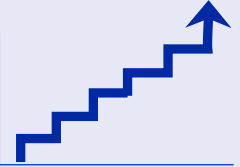
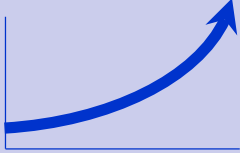
遊離砥粒加工 VS (ダイヤモンドワイヤ) 固定砥粒加工 のウエハ生産量推移比較

単位：出力量
(MW)



参考：富士経済 2014年版 太陽電池関連技術・市場の現状と将来展望

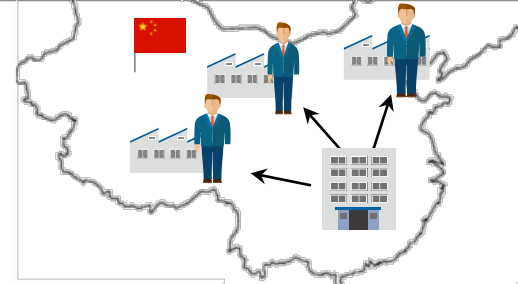
顧客の特性別戦略（NSDTを除く）

| | 位置付け | 主戦略 | 目標 |
|--------|---|--------------------------|---|
| 最大ユーザー | (Longiグループ) パートナー Win-Winの維持 | 最低価格 ×最大量 |  安定的拡大 |
| 既存市場 | 他社製 ダイヤモンドワイヤ ユーザー 戦略的対応 | 対抗的価格 の提示 |  段階的シェア奪取 |
| 未開拓市場 | 固定砥粒 新規導入企業 最優先対応 | 「技術支援」で ユーザー育成 |  需要の掘り起こし |

中国顧客への販売体制強化（上海現地法人の機能拡大）



ダイヤモンドワイヤの在庫保有



技術支援要員の常駐化

リードタイムの短縮要求



顧客の在庫負担減

細線化で加工難易度上昇



現場トラブルに迅速対応

他社との
差異化

サービス向上・コスト削減

シェア拡大

ダイヤモンドワイヤ市場の拡大へ

| シリコンウエハ | 単結晶型 | 多結晶型 |
|---------|--|--|
| 固定砥粒化 |  進行中 |  未開拓 (ウエハが割れやすい) |



03 持続的成長のために

- ① 当社の課題とその解決へ
- ② 研究開発による事業創造
 - 基本姿勢と開発テーマ

ダイヤモンドワイヤ販売の Longiグループ への依存度が高い

 中国の**新規顧客**への販売拡大に注力する
固定砥粒新規導入企業の開拓による**需要掘り起こし**

ダイヤモンドワイヤ販売への売上、利益依存度が高い

特殊精密機器事業にて**新事業**を立上げ、その売上・利益の拡大に注力する

廃シリコン材活用による高機能材料の創生



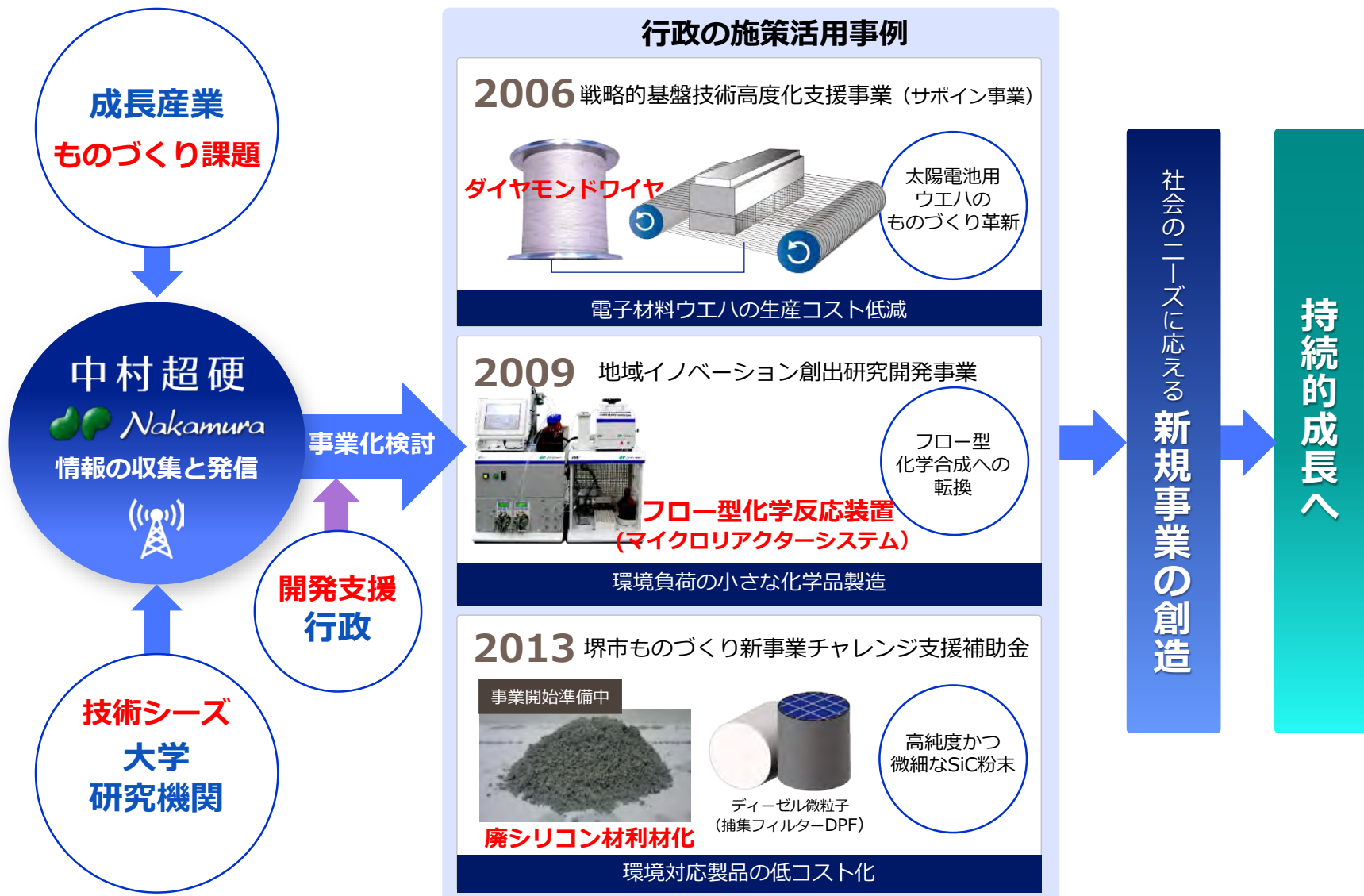
廃シリコン材利材化関連

低環境負荷の化学合成への技術転換



マイクロリアクター関連

成長産業の課題解決により事業化を目指す



本資料の取扱いについて

- 本資料に掲載している情報は、株式会社中村超硬（以下、当社）の経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。また、本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。
- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、現時点における情報に基づき判断したものであり、経済動向及び市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動することがあります。従いまして、実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性等がありますことを、予めご了承ください。